



# Success! Weekly Letter

## 発表！主要フィットネス11社2024年3月期第1四半期業績

### ■主要フィットネス11社2024年3月期第1四半期（23年4月～23年6月累計）業績一覧（売上高順）

単位：億円・前期比は%（▲はマイナス/ーは非公開）

企業・ブランド名	売上高	前期比	営業利益	前年差	純利益	前年差
RIZAPグループ （※）RIZAPを含む美容・ヘルスケア合計	127.9	+31.0	▲30.2	▲22.4	—	—
コナミグループ （※）コナミスポーツクラブ	117.0	+6.5	7.2	+2.8	—	—
セントラルスポーツ	109.8	+5.6	5.0	+4.0	2.4	+2.9
ルネサンス	103.9	+6.7	0.4	+1.0	0.7	+1.0
カーブスHD *決算期の違いにより23年3月～23年5月累計	77.1	+10.0	10.6	+3.6	7.0	+1.0
日本テレビHD（※）ティップネス	66.0	+2.2	0.0	+2.3	—	—
Fast Fitness Japan エニタイムフィットネス	39.7	+12.0	10.5	+2.9	7.3	+2.1
野村不動産HD（※）メガロス	38.3	+4.4	—	—	—	—
東祥（※）ホリデイスーツクラブ	30.1	+3.3	—	—	—	—
バローHD（※）アクトス	23.7	▲3.1	▲2.9	▲0.7	—	—
ジェイエスエス	19.8	+3.1	0.7	▲0.1	0.5	0.0

出典：各社IR資料よりウェルネスビズ（株）作成（※）はグループ・HD企業のうち「スポーツクラブ事業」などのセグメント実績

### ポイント1:再成長の兆し

11社中、10社が前年同期比で売上高を伸ばし、1社が減収となりました。11社の総売上高は753.3億円に達し、前年同期比9.3%の増加を記録しました。2020年度のコロナ前の数字と比較すると、対象となる9社の売上高は17.6%減少しましたが、着実な回復の兆しを見せています。まだまだ十分とは言えませんが、着実な前進が感じられます。

### ポイント2:多様な挑戦

営業利益公開企業9社のうち、7社が黒字、2社が赤字となりました。RIZAPグループは「chocoZAP」の出店スピードを予定よりも前倒して先行投資を

進めた影響で、▲30.2億円（前年比▲22.4億円）の損失となりました。これらの挑戦は、再成長に向けた大胆な一歩として捉えることができます。

### ポイント3:未来への展望

行動制限の緩和により、社会・経済活動は正常化の方向へ舵を切っています。しかし、フィットネス会員の戻りが総合型業態を中心に遅れている一方、光熱費の上昇などが懸念材料となっています。これに対処する課題は、総合業態の再生と新たなビジネスモデル・サービスの展開、そして少子化の状況を見据えたキッズスクール事業の再構築となるでしょう。

## 著者プロフィール



田村真二 (Tamura Shinji)

会員制健康ビジネス専門の経営コンサルタント・マーケティングコンサルタント。ウェルネスビズ株式会社代表取締役。流通小売業のイオンで22年間、フィットネス事業と小売事業の現場と本社で、経営全般・営業・マネジメント・店舗開発・新規事業開発・人事等に携わった後、2007年(44歳)に同社を退社し独立。仕事および自身の経験から、健康ビジネスに対する強い思いがあり、健康ビジネス領域で事業展開する中小・ベンチャー企業を対象に、マーケティングをベースにしたコンサルティング手法で経営力向上と人材育成を支援している。現在、企業コンサルティング、企業研修、講演、執筆などの活動を行っている。

### 出版・編集・お問い合わせ先

#### ウェルネスビズ株式会社

TEL:03-4530-6263

FAX:03-3562-7822

Mail :[info@wellness-biz.jp](mailto:info@wellness-biz.jp)

URL:<https://www.wellness-biz.jp>

〒104-0061

東京都中央区銀座1-3-3

G1ビル7階 1180号

### 免責事項

このニュースレターで提供された情報およびアドバイスによって起きた問題に関しては一切、当方やライターに責任や義務は発生しません。ここでの情報や助言を参考にした判断は、当然ですが、すべて読者の責任において行ってください。